

しいの実

第12号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 救急法講習会

始業式の午後、学校教職員の救急法講習会を養護教諭の指導により実施しました。

学校では毎年救急法講習会を実施していますが、今年度新たに2つの事を学びました。それらのことも含め、まず座学による確認等を行い、次にエピペンとポイズンリムーバーの体験をしました。ポイズンリムーバーを試すのは初体験だったのですが、結構強力で驚きました。バーを引くことで吸い出す器具とバーを一度引いてから押すことで吸い出す器具があり、実際に体験しておくことの大切さを感じました。もう一つの新しいことは、毛布による搬送です。近くに担架がない状況での搬送やベッドから担架に乗せる場合にも使える方法でした。

学んだことが役に立つことがないことを願いつつ、講習会を終えました。

 <p>引くことで吸い出す。</p> <p>引いてから押すことで吸い出す。</p>	 <p>毛布の端を丸めて、持ち手として搬送します。</p>
	 <p>心臓マッサージの訓練です。複数人で助け合って実施します。</p>

■ 稲刈り体験

9月6日に5年生が稲刈り体験をさせていただきました。5月6日の田植え体験で植えた苗が立派に成長して刈り取れるまでになりました。

事前に周辺のイネはコンバインで刈っていただいていたので、子どもたちが刈ったのは中央部分です。初めての子もいたと思いますが、農業法人クマダの方に見守っていただきながら安全に体験できました。30分ほどでしたが、30人が少しずつ刈ることでイネはどんどん刈られていきました。最後には、コンバインで残ったイネを刈る様子を見せていただきました。自分たちが30分かかったのと同じくらいの量でしたが、機械にかかれば本当

に「あっ」という間に終わってしまいました。私が子どもの頃だと稲刈り後も稲架かけ^{はき}をして乾燥させ、脱穀までだけでもまだまだ手間も時間もかかりましたが、乾燥を除く作業が刈り取りと同時に終わるのを見て、機械化のすごさを感じました。



ここを刈り取ります。



すぐに脱穀できます。



手際よかったです。



多くの方に見守られています。



残りはコンバインで。



脱穀されて、運ばれます。

■ ようこそ先輩

9月1日から本校の卒業生で皇學館大学3年生の伊藤佑華さんが教育実習に臨んでいます。教員を目指すものにとっては避けて通ることのできない、非常に大切であり、一生の思い出に残る実習です。今は、学級の子もたちの様子を知ったり、本校の先生たちの授業の様子を見て指導方法について学んだりしているところです。

明るく前向きな実習態度です。子どもたちにどのような授業をしてくれるのか、楽しみにしています。また、実習生の指導を担当してもらう3年担任渡邊先生も、まだまだ若いですが、とても頼りになる指導力もある先生です。後輩を指導することで、改めて初心を思い出し自らの教育実践に反映してくれることを願っています。

初めての授業、自己採点は65点だそうです。少しずつ改善して、実習の終わりには満足いく授業ができるといいですね。

